デモをリクエスト >>

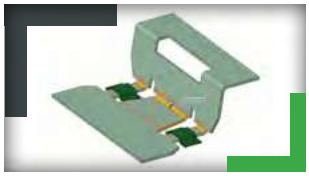
>>> CREO 9 から CREO 12 への高速化

短期間でベストな設計を実現。最新リリースにアップグレードして、強化されたコアモデリング機能、生産性向上、そして信頼できるソフトウェアに求められる画期的な機能を体験してください。PTC は毎年、お客様の業務の簡素化と高速化を図っています。新機能を利用して、**高速化を実現します**。

>>> CREO の強み：

PTC の Creo は、短期間で最良の設計を可能にするパラメトリック 3D CAD システムです。製造メーカーは、Creo の完全に統合された設計、シミュレーション、製造機能を活用して、CAD システムの価値を最大限に引き出しています。Creo は、モデルベースの製品開発、リアルタイムシミュレーション、ジェネレーティブデザイン、複合材製造、付加製造、除去製造の効率的なワークフローを実現します。使いやすいコアモデリングツールにより、日々の生産性が向上します。Creo は関連性を完全に維持し、変更はバリューチェーン全体に自動的に適用されます。Creo はオンプレミスソリューションを提供し、Creo+ はクラウド対応のコラボレーションおよびライセンス管理 / 展開ツールを備えた SaaS ソリューションを提供します。

CREO 12 では以下の機能を提供しています



ユーザビリティと生産性の改善。Creo 12 では、直感的なインタフェースと、合理化されたワークフローを提供します。顧客の要望を反映した Creo 12 の機能強化には、フィーチャープリセットやマルチボディ部品からのフラットアセンブリの作成などがあります。最新情報のハイライトと機能強化されたツールヒントでは、Creo の可能性を最大限に引き出すために必要なリソースが提供されます。

業界最先端の複合素材機能。Creo 12 は、高度な複合材構造設計において市場で最先端の忠実度と精度を実現しており、エンジニアが複合材部品を効率的に設計、シミュレーション、製造できる革新的なツールを利用できます。Creo 12 では、複合素材レイヤーからソリッドジオメトリをより速やかかつ正確に作成できるようになり、アソシエティブ製造参照モデルを作成できます。

電動化設計。Creo は回路図の取り込みから PCB レイアウトおよびワイヤハーネス設計まで、設計プロセス全体を合理化するツールを備えており、回路設計およびハーネス製造に最適です。複雑なハーネス設計を行う際に、エンジニアはハーネスをアセンブリとして構築できるので、他のエンジニアとの共同作業が容易になります。

モデルベースのアプローチ。Creo ではモデル中心のアプローチを採用しているため、すべての製品情報が 3D モデル内で正確に定義され、適切な情報を適切な人に適切なタイミングで提供できます。Creo 12 では、3D PDF や STEP AP242 エディション 3 など、ファイルのエクスポート機能が向上しています。GD&T Advisor でデータム参照フィーチャーとダイナミックサーフェスがサポートされ、アノテーションの再利用が簡単になりました。

シミュレーションとジェネレーティブデザイン。Creo のシミュレーション駆動設計は、受賞歴のあるジェネレーティブデザインとリアルタイムの Ansys シミュレーションツールを使用しているため、エンジニアが設計プロセスの初期段階で設計を反復および最適化するのに役立ちます。Creo 12 では、エンジニアは構造解析と固有値解析に加え、AI を活用したジェネレーティブデザインを熱最適化検討に利用できます。Creo 12 では、Ansys ソルバー (25R1) が更新され、Creo Simulation Live と Creo Ansys Simulation の両方で、結果が簡略化および改善されました。

付加製造と除去製造。Creo は付加製造および除去製造の設計に最適なソリューションです。Creo 12 では、エンジニアは付加製造を使用して射出成形ツールに適合した冷却チャンネルを設計し、最適な結果を得られるようになりました。付加製造では格子の接続とカスタマイズの機能も強化されています。また、アンダーカット高速ミリング機能によって除去製造がこれまで以上に向上しました。

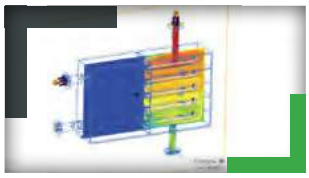
CREO 11 では以下の機能を提供しています

ユーザビリティと生産性の改善。PTC と Creo は毎年、お客様の業務の簡素化と迅速化を実現しています。Creo 11 も例外ではなく、板金部品のマルチボディデザイン、改善されたスポット溶接、簡単なサーフェス選択、優れたモデリングツールをサポートしています。

強化された複合設計機能。遷移、積層断面、ドレーピングシミュレーションの拡張された機能を活用しています。ゾーンベースの設計でプライを自動的に作成します。トップクラスのレーザー投影フォーマットを通じて複合素材製品の品質を高めます。

電動化設計の拡張。Creo 11 は、ケーブルツリーの強化や位置を除去する機能など、ケーブリング用に改善されたツールを備えています。コンテキストデータの向上した可視性により、ECAD のさまざまなレイヤーの表示を柔軟に制御できます。

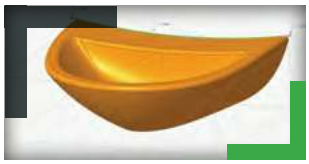
拡張された MBD 機能。Creo 11 は、高性能なモデルベース定義 (MBD) ツールにより明確な設計を少ない労力で実現します。テーブル、継承モデルでのセマンティッククエリー、GD&T Advisor の最新の機能強化をお試しください。



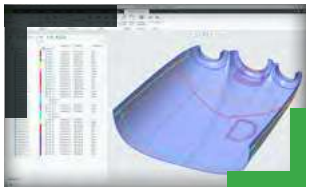
シミュレーションと最適化の拡張。シミュレーション主導の強化された設計ツールで製品を改良します。ソリッドと液体流量の組み合わせの熱伝達を正確に予測します。非定常構造シミュレーション（時間依存境界条件）のサポートを受けることができます。ジェネレーティブデザインの強化により設計を迅速に最適化します。

幅広い切削加工と付加製造。高品質で製造可能な製品を簡単に提供できます。最新の付加製造により複雑な格子を簡単に製造できます。除去製造では、高速ミリングが 4 軸ロータリー荒削りと仕上げのツールパスをサポートするようになりました。

CREO 10 では以下の機能を提供しています



ユーザビリティと生産性の改善。モデルツリーの管理が改善されているほか、モデリングツールが、スケッチャー、穴とパターン、マルチボディ分割 / トリム、ワープおよびフリースタイルサーフェスなどで機能強化されています。

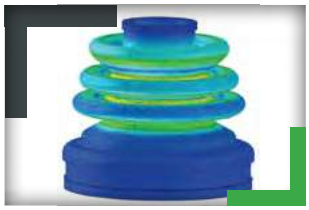


新しい複合設計機能。Creo に新しい専用の複合設計機能と製造環境を導入しています。幅広い一連の機能が提供されているため、個々のプライレイアップ、プライセクション、遷移、プライ順序を定義できるほか、結果のソリッドジオメトリや内部モールドライン (IML) キルトを作成することもできます。構造を最適化して、強力でありながら軽量な結果が得られます。

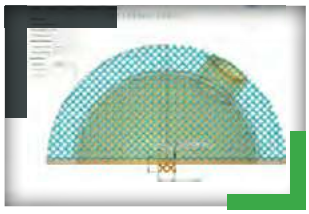
電動化設計の拡張。多くの業界で電動化への取り組みが重要になっています。Creo では、ケーブルとハーネスを設計するための設計ツールを改善することにより、配線ハーネスの作成と管理を支援しています。ケーブリング用の分割 / マージハーネスツール、アプリケーション中心の新しい管理ツリー、新しい ECAD 機能についてご確認ください。

人間工学に基づく設計の拡張。Creo に追加された最新機能により、ユーザーの可動域、視野、独自性を安全かつ効率的な方法で考慮に入れることができます。視野機能により反射解析を実行でき、マネキンが複数のリーチ領域をサポートできるようになりました。

簡素化されたモデルベース定義 (MBD) とデジタルスレッド。関連するシンボル、EZ Tolerance、GD&T Advisor の最新の機能強化をお試しください。



シミュレーションと最適化の拡張。Creo Ansys Simulation Advanced が Creo シミュレーション製品に新たに加わりました。非線形材料、非線形接触、熱解析と構造解析の統合のために新機能が導入されています。平面対称および回転対称の拘束条件によりジェネレーティブデザインが改善されています。



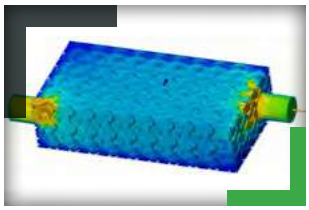
幅広い切削加工機能と付加製造機能。最新の付加製造機能を使用して、ビームベースの新しい格子タイプを作成したり、IWP セル格子の作成をサポートすることができます。切削加工では、高速ミリングがウォールとフロアの両方の 5 軸仕上げのバレルツールをサポートするようになりました。

CREO 9 では以下の機能を提供しています

ユーザビリティと生産性の改善。モデルツリー管理はかつてないほど簡素化されており、サーフェス分割機能により解析が簡略化され、MBD 機能が強化されます。スケッチャー、マルチボディ、および ECAD も今まで以上に改良されています。シンプルで強力なフリースタイルブラシにより、有機的ジオメトリ形状の比類ない造形が可能になります。

より簡単なモデルベース定義(MBD)と詳細図面。表面仕上げシンボルの作成、配置、編集のための直感的なワークフローが、最新の ASME および ISO 標準に準拠したセマンテック表面仕上げアノテーションとともに提供されます。新しい図面ハッチングパターンにより、詳細図面もさらに簡単になりました。

人間工学に基づく設計の拡張。あなたの製品を使うユーザーは、一様ではありません。カスタムマネキンを作成してライブラリに保存し、思い通りに操作できるようになりました。革新的な視野機能では、設計がユーザーの視野に与える影響がわかります。



シミュレーション機能とジェネレーティブ機能の強化。Creo Simulation Live を使用して、構造解析と熱解析を同時に行い、ジャイロイド機能と格子機能を流体解析に含めることができるようになりました。ジェネレーティブデザインを使用して、製品を指定された安全係数で設計できるほか、固有値解析も可能です。

幅広い切削加工機能と付加製造機能。5 軸 測地線加工 仕上げツールパスによって切削表面仕上げを改善します。また、付加製造で、オープンキルトスキンの格子を作成できるようになりました。

最新のプラットフォームサポートとシステム要件については、PTC サポートページをご覧ください。

© 2025, PTC Inc. (PTC).All rights reserved. 本資料に記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。
661972_Creo_4_9_0425-ja